

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教育実習事前事後指導 pre-post guidance and teashing practice		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	(教職課程必修(幼稚園教諭二種))	児童フィールドのみ
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
教職課程必修科目、保育実習指導 I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
教職課程必修科目、保育士養成課程必修科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
松崎勇人、秋山真奈美、小竹利夫、大塚登、高橋登美子	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
幼稚園での教育実習に臨むにあたり、「幼稚園の役割と機能」「幼稚園教育の性格と特色」「幼稚園教諭の職務内容」など理論を学ぶ。また、1年次の観察実習における学びを基に、保育の場における指導の実践力を身につける演習活動に取り組む。各自が臨む実習園への連絡や事前準備は、目的意識を持って積極的に進める。				
授業の目標				
①観察実習での取り組みをふりかえることで、総合実習に向けての明確な課題と目的を持つ事ができるようにする。 ②幼稚園教育要領に基づいた保育内容の理解に努め、保育内容の5領域を意識した指導方法を考え、対象年齢に適応した保育計画を立案することが出来るようにする。 ③計画的に実習を進め、実習後の活動も積極的に取り組むことが出来るようにする。				
授業の方法				
実習前は、実習に向けての幼稚園の実際を知ることと事前準備の演習活動とする。実習後は、記録の提出を含め実習全体のふりかえりを行う。授業のスケジュールと内容については、実習準備の状況や学習内容の習熟度によって前後したり内容を加えることもある。				
学習の成果(学習成果)				
「幼稚園の保育活動」「幼稚園での指導」「幼稚園教諭の職務内容」について、幼児教育の場に臨むことで学ぶことのできる意味を捉えた実習として取り組むことができる。指導計画については、望ましい幼児の環境を意識した内容で、子どもが主体的に活動できるような立案をすることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(シラバスの説明、授業の進め方、実習による授業追加について、実習内容の確認と実習計画、担当教員)			
第2回目	【実習前】			
第3回目	○観察実習のふりかえりと総合実習としての実習内容の確認。(小竹、高橋)			
第4回目	○実習計画を立てる。…オリエンテーション、ピアノ実技課題、責任実習立案、保育実技、教材研究、他			
第5回目	○オリエンテーション書類準備と観察実習日誌の確認。			
第6回目	○総合実習の課題・目的を明確にする。(松崎、高橋)			

第7回目	○総合実習に含まれる責任実習（一日保育を担当）について、実習計画を考える。
第8回目	○子どもの姿、望ましい保育環境を意識した保育計画の立案をする。（教材研究、教材準備、指導案作成）
第9回目	○教材研究を意識した保育活動として「折り紙の手順図」を作成する。（発表として評価する）
第10回目	<b>【実習後】</b>
第11回目	○日誌内容、記録の提出確認。（秋山、高橋）
第12回目	○実習での保育実践を基にした指導案の再構成をする。（調査報告書として評価する）
第13回目	○自分の実習を省察し、実習報告書としての「お便り」を作成する。（レポートとして評価する）
第14回目	○実習終了後の園との連絡や日誌の提出等、責任を持って進める。（大塚、高橋）
第15回目	○望ましい子どもの成長に向けた保育環境について考察する。

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	実習園の教育方針に適応した実習計画と保育計画を立案する努力が、授業に取り組む姿から見られる。実習に臨んで等の提出物は、提出期限を厳守している。「教育者」を志す態度・意欲が見られる。
レポート	20%	実習の報告書として、お便りを作成する。お便りは、内容の充実（授業内で指示）読み手が見やすく読みやすいことも重視される。提出期限厳守。
調査報告書	20%	実習時作成した指導案を、評価反省を基に再構成（授業内で指示）する。提出期限厳守。
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	20%	教材研究と指導研究の一環として「折り紙の手順図」を作成する。対象年齢や、作成折り紙自体が幼児向けであること、実際の保育で使用可能な作り方であること、丁寧であることを求める。提出期限厳守。
その他		

教科書と参考図書

幼稚園実習野手引き：佐野短期大学  
 幼稚園教育要領、各自必要な教材研究図書や雑誌の持参可  
 幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド「わかば社」、実習日誌・実習指導案「パーフェクトガイド」（1年次購入済み）

履修上の留意点・ルール

授業への参加は、保育学生として相応しいことを求める。（服装、態度、言葉遣い、書類管理等含む）遅刻・早退の3回は欠席1回として扱う。  
 実習前の多欠席、課題の未提出、授業態度に問題があるなどが見られた場合、面談を行う。